

# 村長の日記

---

1月4日（水）

## 平成29年、仕事始め挨拶。

明けましておめでとう、今日から29年が始まります。今年は皆さんにとっても、議員先生にとっても、村にとっても、良い年であれば言うことはありません。今ここにいる皆さんのおかげで、村は順調にと言いますか、大過なくと言いますか、運営出来てきました。

アメリカでは、トランプ大統領が1月20日に就任します。TPPから離脱を表明しています。村は関係ないといいますが、農産物が軒並み安くなれば村の農業は壊滅します。EUではイギリスの離脱が国民投票で決まりました。アジアでは北朝鮮の原爆とロケット、韓国の朴大統領の弾劾決定、中国の空母に見られる海洋進出、相も変わらない中東、アフガン、アフリカの政情不安。うまく行っているのは日本の安倍政権ぐらいだと思いますが、我が国にもかなりの影響があります。国に影響が出たら、村はかなりの影響が来る覚悟が必要です。

昔は、と言っても20年~30年前では、かなり世の中の変化はゆっくりでした。しかし、最近の変化は非常に激しいものがあります。20年ぐらい前までは、山持ちは村では金持ちの代表でした。土地持ちも同じでした。しかし、今はどんなものでしょう、山は150年生以上の桧山以外は資産価値なし。建築基準法で木材使用が緩和されたが、消防法では基準がきつい。土地の値段が下がり、資産価値はほとんどありません。村の様に土砂災害指定を受けた地域は、地価0となりました(大阪府信用保証協会 矢富理事長の話)。小吹台も地価が非常に安くなりました。村の人達はまだ現実を理解している人は少ないのですが、このまま村を放置していれば村は無くなります。年末の挨拶でも申しあげましたが、今有効な手を打たないと、村は永遠に過疎から脱却できません。

私は6日間考えましたが、なかなかいい考えが出てこない。ただ1時間でも1分でも早く、村おこしに取り掛かる必要がある事は間違いありません。

今、村に業と言えるものがあるのかを考えました。農業、林業、製造業、物販業、観光業、サービス業、建設業、業として機能しているのは建設業、造園業、かろうじて運営している製造業、観光業サービス業。昔、村を支えた農業は林業は生業(生きるための仕事)となっている。

村が過疎から脱却するには、人口増1000人、税収増3億円が必要。人口増には宅地開発、空き家開発、マンション建設。税数増には企業誘致、起業振興、既存産業の育成（世代交代）、新産業用地の提供。これからの時代、スピードが大切。出来る事ならトップダウンではなく、ボトムアップで行きたい。

今年は手はじめに

## 村長の日記

---

1. 事業仕訳をやりたい。不必要な事業、役割を終えた事業、将来の見えない事業の廃止。
2. 各種審議会、委員会については、行政依存をやめて住民主導に。
3. 各種委員会、審議会委員については、名前だけの委員、動かない委員は交代してもらう。

議会の先生方にも村発展のアイデアを出していただいて、過疎からの脱出のバックアップをお願いします。

挨拶の後、議長室で議長主催のお茶会に副村長とともに参加。副議長差し入れのミカンを頂き懇談。

### 11:00

役所出発。知事室で副知事3人に挨拶の後、大阪府、大阪市、大阪経済会主催の新年互礼会に参加。府のほとんどの部長さんに挨拶。鈴木府会議員、吉村府会議員、竹本代議士、浦野代議士に新年の挨拶。富田林医師会、富田林保険所、富田林警察署、富田林消防本部へ挨拶。村へ帰った時は夜の闇となっていた。

1月5日（木）

### 18:00

#### 地域の皆さんと新年会

例年通り、国産のA5ランクとはいかないが、A?クラスの牛肉15キロのブロックを手に入れ、しゃぶしゃぶパーティ。

10数年使っていたスライサーがダウン。急ぎよ安いスライサーを買ったのだが、うまく動かない。刃はイタリー製、刃以外は中国製、作りが悪い。日本人の私が考えられない作りの所がある。12月から1カ月ほど掛かって調整、やっとスライサーの役割を果たせるようになった。

約1時間ほど掛かってスライス完了、パーティとなる。昔はパーティとなればビール、日本酒がメインだったが、最近は焼酎が主人公。肉も少し脂肪が多いが旨いとの声を頂き、是非今年も皆さんのバックアップをよろしくお願ひし、たのしい数時間を過ごした。

# 村長の日記

---

1月6日（金）

## 新年互礼会

今年は何年。何年は、政治的にも社会的にも大きな異変が起こる年と言われております。

今年の1月20日には、アメリカでトランプ大統領が就任する。連日彼の発言について色々なニュースが流れています。

国にとっていい影響は、数年経ってやっと村に波及してきますが、悪い影響はすぐ村のように弱い自治体に波及します。トランプ効果が国にいい影響を与えるように、期待するのみです。

私が村長に就任以来13年目となり、2度の合併破綻がありましたが、維新に先駆け行った“身を切る改革”のおかげで、職員数は50人減となりましたが、ほとんどの職員は懸命に職務をこなしておりますし、財政的には近畿財務局長からいい結果だとほめていただくようになりました。村は庁舎建設を控え、コンパクトで、簡素かつ使いやすい庁舎を目標にすすめております。皆さんの意見を、出来る限り取り入れたものにいたします。

今年から、新年互礼会を再開いたしました。例年、みなさんのお宅にあいさつに伺っていたのですが、皆さんもお忙しい時期でもあり、お会いすることが出来ないケースがあり、一堂に会してみなさんのお話が聞ければと思います。

村は平成26年、大阪で初めて過疎指定を受けました。私は、日本で初めて村は過疎から脱出すると宣言しました。村の開発を妨げていた市街化調整区域も、運用で開発可能になりました。ぜひ村の開発に協力してください。

村は今日より明日、今年より来年は少しずつ良くなっている。職員一同努力いたします。

何年かぶりの互礼会でした。村は非常に高齢化が進んでいることを実感しました。これからは若い人たちに世代交代を進めて行く必要を感じる1日でした。

1月8日（日）

## 富田林市消防出初式

村をはじめ、河南町、太子町も富田林市消防本部に消防業務を委託している。富田林市消防出初式には、両町長と共に毎年参加している。今日はあいにくの雨模様、富田林消防本部で表彰式のみの出初式となった。富田林市消防出初式は石川河川敷、寒い中で行われる。何年か前、富田林の議員が「これは拷問みたいなものだ」言ったことを思い出した。

## 村長の日記

---

実際の温度は千早より暖かいはずだが、体感温度は寒い。川面を走る風が体感温度を引き下げるのだ。例年携帯懐炉を4~5枚体に巻きつけて参加する。寒さ対策を万全に用意したのだが、室内で行う今年は必要なし。暖かい出初式だった。

1月9日（月）成人の日

**9:30**

**成人式**（くすのきホール）

今日もいい天気、入り口は若い人たちで一杯。晴れ着を着た女性、羽織を着た諸君、スーツを着た皆さんがまぶしい。

今年の成人は平成7~8年に生まれた人たち。付添いの父兄の皆さんは、私の娘あるいは少し若い世代、村にも若い人がたくさんいるのだ。村の運営にもぜひ若い皆さんに参加、携わっていただきたい。大阪最近の傾向として、市長の皆さんが若年化している。村のイノベーションに若い力をほしい。

アトラクションとして成人の皆さんのビデオ、ノアさんの息子が成人となったらしい。私には彼の子供時代の記憶しかないのだが、時間の経過が早い。

中学校のブラスバンドは、いつ聞いても元気があって良い。

1月11日（水）

**午前**

**河内長野市観光課の皆さん来庁、奥河内観光写真コンクール選考会。**

議長と共に、千早赤阪村長賞、議長賞を選ぶ。「まず村長が選べ」と譲ってもらったので遠慮なく選考したところ、「やっぱりこれか」。良い写真はやはりいい。次に議長賞を選び、選考が終わる。去年も今年も作品を見せていただいて思うことだが、作品が非常に素晴らしくなって来たことだ。昔と違い、デジカメを使うことから写真を撮る回数が多く、昔より非常に多い写真からいい写真を選ぶのでよくなったと思う。奥河内の写真展では、私と議長が選ぶ写真は村の写真でと河内長野市が配慮してくれた。奥河内の仲間として感謝している。

**重要政策会議**

今進行中の庁舎問題を検討する。現在候補地が3つある。22日（日）に庁舎検討委員会に諮り、23日（月）庁舎建設特別委員会で議会

## 村長の日記

---

の意思を決定していただき、住民説明会の後、庁舎問題を決定。新年度から庁舎建設推進に掛かる事になった。

1月12日（木）

### 地方創生 市町村長トップセミナー

地方創生担当大臣、山本幸三氏が基調講演。

大臣の講演は非常に熱のこもった内容で、地方創生は東京の一極集中を止める特効薬との思いがあふれていた。

国家戦略特区で関西圏は、大阪、兵庫、京都3府県で医療全般のイノベーション拠点、チャレンジ人材支援拠点となっており、大臣は特にインバウンドによる医療推進を強く望んでいる。大阪府では国際がんセンターが今年オープン、そのそばで現在建設中の重粒子線がん治療センターが近日中にオープン。国家戦略特区の一部でイノベーションが進行中。

地方創生を推進するには RESAS の利用を推奨されていた。RESAS とは REGIONAL ECONOMY SOCIETY ANALYZING SYSTYEM「地方経済分析システム」。

### RESAS の特徴

- ・ 地方創生の情報支援（2015年より提供開始）
- ・ 地方創生のデータ利用の入り口。地方経済に関する官民の様々なデータを、地図やグラフで見える化しているシステム。
- ・ 地域の課題を発見し、その解決策を検討することが出来る。

### RESAS による政策の在り方

- ・ 勘や、経験、思い込みではなく、データによる政策立案、地域情報の把握、KPI の設定、PDCA サイクルの確立。きっちりしたデータに基づいた政策が立案できるので、政策の完成度が上がる。

村も RESAS によるデータ収集の上、過疎からの脱出を図ろう。

## 村長の日記

---

1 2 月 1 3 日 (金)

### 11 : 30

森林組合木材市場に着いた所、大量の木材が山積みされており、私がかつて見た事も無いほどのボリュームだ。

何回か市に来たことはあるが、これほどの木材が集まった市はかつて無かった。特に目についたのは楠の大木、欅の大木が事務所前にドカンと置かれていた。

直径は1 m +、長さ6 m、堂堂たる大木。価格はと聞くと“あまり高くない”との返事、しかし、安い安いと言ってもこれが現在の相場だから、市場価格で採算が取れるようにする以外方法が無い。村は間伐補助として1立米7000円を村単独でつけている影響もあり、間伐材の出荷が多く、村内の林業家、森林組合から評価を受けた。

前々、能勢町長の中さんと久しぶりに会うことが出来、行政はもっと山作りに金を使えと言われた。

今木材を取り巻く状況を見ると、忠岡木材港に1本の輸入材木もなく、東京の新木場も同じ状況。隣接している木材工場はすべて閉鎖、木材輸入はカナダ、北米、北欧から製材済みで入ってくるが、木材需要が少ないので輸入が少なくなっている。

建築基準法では木材利用の道は広がったが、消防法ではまだ規制がきつい。地価が高い都市部では1戸建の建築は無く、木材使用量の少ないマンション建築が最近特に目立つ。マンションは40年~50年も経過するとスラム化するのミシガン州のデトロイトで実証済、50年先にはまた1戸建ての住宅が復活する。その時のために間伐を進めて、いい木材が産出する森作りを進めたい。

1 月 1 4 日 (土)

竹本直一先生新年互礼会 (富田林市民会館)

### 13 : 30

役所出発。今年は解散があるのか？支持者送迎のバスが列をなしている。皆さんに年賀状を手渡して、おめでとうを交わす。

竹本先生の挨拶で「明日よりダボス会議に行く」、ぜひ、良い結果が出るようにお願いしたい。安倍総理も地球を俯瞰する外交で世界各国と良い関係を作る努力をされている。ぜひ国の為に、ダボス会議で努力をお願いしたい。

先生は、リニア新幹線を8年前倒しで大阪へ延伸する結論を決めていただいた。リニアは大阪~東京68分、しかし先日、新大阪へ行くのに8時に家を出たが、着いたのは10時30分、新大阪へ行くのに2時間30分、新大阪から東京駅まで2時間30分。12月で特別だった

## 村長の日記

---

かもしれないが、役所~府庁が1時間40分。リニアが出来る前に、リニアの乗り場まで1時間以内に着けるように道路インフラの整備をお願いしたい。

村としての急務は、国道309号線の延伸。29年度にやっと川野辺まで出来る。あと、水越峠まではいつできるのか？

富田林五條線のトンネル、村のにとっては50年来の願い。奈良県側ではすでに金剛山麓まで4車線道路が出来上がっている。外交も大切だが、選挙区も大切をお願いしたい。

1月16日（月）

**11:00**

公明党新春年賀会（ニューオオタニ）

1時間と25分かかって会場着、浅野議員が入り口で迎えてくれた。2階の会場へ上ると各市長、町長の顔が見える。大阪の公明党は非常に強い。党としての結束が強く、欠席する議員はいない、壇上に登る議員は若い。もちろん北川先生のようにベテラン議員もいるが、佐藤大阪府代表以下、若さと元気でガッツが輝いている。

自公で日本を背負っている自信だろうか、松井知事も駆けつけて元気のいい挨拶、公明・維新もいい関係らしい。自・公・維新揃っていい大阪を作って欲しい。

**13:30**

村長会事務局

18日の市町村長合同会議のレクを受ける。大阪府各課の新しい事業展開を聞くが、なかなか村にフィットした話が少ない。

消防、府域開発、保険の改革、どうしても住民の多い大都市中心になっている。財政力の弱い小規模町村にも目を向けてほしい。

**18:00**

ベトナム領事館主催のニューイヤーパーティ

日本の格式ばったパーティとは幾分雰囲気が違う、アットホームなパーティ。

領事は怪我をしたらしく、松葉つえをついて参加。招待者の中に知人がいるだろうと思って参加したが、堺前市議会議員の加藤さん、「万里の春」の石田さん、かなりの知人が参加していた。



## 村長の日記

---

パーティになり、ベトナムの米で作ったフォー（米で作った麺）、もち米で作った赤色と白いおこわ、生春巻き・揚げ春巻きを頂いた。私の好みでは、揚げ春巻き、次に少々甘いがおこわが良い。

1月18日（水）

### 大阪府市長会・町村長会合同会議

議長を八尾市田中市長にお願いし始まった。

初めに、最近当選の摂津市長 森山一正氏、泉大津市長 南出賢一氏、両氏の挨拶。市長会副会長に南出賢一 泉大津市長を選任。

議事に入り

1. ラグビーワールドカップ2019 日本大会サポーターズクラブ会員募集  
2019年の大会に向け盛り上がりを高めて行く。一人でも多くサポーターズクラブ会員を集める。各市町村も広報で協力を。
2. 大阪版自治体広報セキュリティクラウドの概要  
市町村のインターネット接続口を府が一元的に集約化し、高度な情報セキュリティ対策監視を実施。
3. 消防力強化の勉強会  
全国的に地震、台風、ゲリラ豪雨、近い将来予想される南海トラフ大地震等に対応する必要から、府下市町村が協力して被害の最小化を目指す。
4. 福祉医療費助成  
精神障がい者、難病患者、DV 被害者への公費負担等対象拡大が必要。対象者・給付範囲を真に必要な者へ選択集中するとともに、受益と負担の適正化が必要。
5. 大阪発地方分権改革ビジョンの改定  
2020年、副首都化に向けた制度面での基盤整備へ取り組み。

今の行政運営で住民サービスを維持充実できるかを考え、市町村の行政運営体制の強化をいかに進めるか。

以上を討議して、市町村長会を終了後、防災・危機管理トップセミナー。

大江桂子 危機管理鑑 挨拶のあと、菅野拓氏の講演



# 村長の日記

---

## 平常時の心得

1. 対応拠点施設の整備。
2. 平時より組織体制の整備。
3. 専門人材の育成と活用。
4. 計画、マニュアルの作成と熟知。
5. 非常時対応設備、システムの平時使用。
6. 実践的訓練で弱点の洗い出し。
7. 他の地域、他の機関の対応事案学習。
8. 近隣自治体や防災関係機関との連絡強化。

## 発生時の心得

1. 非常時には対応・体制を迅速に立ち上げる。
2. 災害対策本部の機能を理解する。
3. 非常事態の出発は迅速に。
4. 対応はトップが前面に
5. 判断、指標を迅速に活用を決定。
6. 最悪をイメージする。
7. 過剰対応は無駄でない。
8. 過去の経験だけで判断しない。
9. 被害想定を活用する。
10. 被災者の視点を大切に
11. 記録を取り残す。
12. 教訓をつなぐ。

## 被害情報の管理とメディア対応の心得

1. 情報は目的を持って集める。
2. 情報の空白地域を警戒する。
3. 重要情報の伝達は必ず確認する。
4. 記者会見の心得を習得する。
5. 情報関係と平時の関係を大切にする。
6. 誤報には厳重抗議する。
7. 個人情報の取り扱いに注意する。
8. 情報発信は災害対策の要であると認識する。

1月19日（木）

## 運転免許の更新

70歳を超えると免許更新もままならない。まず自動車学校へ行って、高齢者講習を受ける必要がある。私も1月17日が誕生日、富田林自動車学校に高齢者講習を予約したには確か10月だった。

高齢者講習は非常に混雑している。9時に自動車学校着、高齢者が多いので皆さん早く到着している。私は9時ジャストだが16人中15

## 村長の日記

---

番目、皆さん早い。

法規の座学、運転者にとってキツイ法規制がかかっている。最近の交通状態を見ると、もう少し運転者を信じていいのでは？ 交通事故死者数も多い時の4分の1に減少した。

私達の生活は、世界の中で超一流となった。東京都の年間予算はノーベル賞で有名なスウェーデンの予算とほぼ同じ。出来の悪い国民もいるが、日本人は規制を守る、秩序を守る国民として世界的に有名だ。311、熊本地震の映像でも有名、少々規制を緩めても、日本人は他国で蟹殻を買っている東アジアの連中とは少し違うと思いつつ、講習を受けた。

日本では、すべての面で規制緩和を行っても心配ない領域に来ているのでは無いか。

1月20日（金）

### 喫茶中津原へ

200円でコーヒー・紅茶+ケーキが付く、安くて楽しい会。午後2時からオープンなのだが、少し遅れて2時40分頃訪問した。

見回したところ、ほぼ40人、男性は4分の1。区長、前区長 他、たくさんの皆さん。徐々にコミュニティが崩れゆく各地域の中で、現在千早、上東阪、中津原、吉年、東坂、二河原辺で行われている。小吹台、水分のいきいきサロンでは週三回ドリンクサービスが行われているので、ほとんど全村でお茶会がある。

地域の皆さんが集まり、昔のように住民情報を交換する(井戸端会議)のはいいことだ。最近個人情報の問題になっているが、旧村地域では昔から個人情報はほとんどオープンになっている。

1月21日（土）

### 13:00

### 大阪府山岳連盟新春パーティ（セルロイド会館）

昭和6年に建てられた素晴らしい会館、かつてセルロイド産業の中心であった大阪の遺構。かなりお金がかかっている建物と思われる。

## 村長の日記

---

1月22日（日）

今年の冬は暖かいと思っていたが、急に寒くなり今日もかなり寒い。

昨日、稀勢の里関の優勝が決まった。今日千秋楽に勝つと横綱間違いなしと思っていたが、今日も白鳳に勝った。今は横綱3人が全てモンゴル人、相撲はモンゴルの国技ではなくやっと日本の国技になりそうだ。稀勢の里に続いて日本人の横綱が出ることを望む。

1月23日（月）

**10:00**

### 議会庁舎建設特別委員会

委員長：田中副議長

昨年、庁舎建設を一時中止、住民に意見を聞き、代替案を検討した。

代替案

- くすのきホールを改修し、新庁舎に転用。建築費概算(15億1千万円、アクセス道路分を含む)
  - 建設工期が短い。存施設改修であり経費抑制が可能。
  - アクセス対策が必要、道路新設6億円。くすのきホールは築24年、耐用年数が新築に比較して短い。
- 現庁舎位置で建て替え。建設費概算(10億円)
  - 路線バスがありアクセスが良い。村の既存施設が集積している。
  - 急傾斜地にあり安全性確保工事が必要。駐車スペースが少ない。
- 保健センター改修、新庁舎に転用。建設費概算(10億円、内不足庁舎分4億7千万円)
  - アクセスが良い。村の中核地域にあり既存施設が集積。
  - 改修可能範囲が狭く、執務室面積確保が困難。築20年、駐車スペースが少ない。

特別委員会は2案を了承し終了。

2月10日（金）、2月11日（土）、2月12日（日）庁舎建設住民説明会、住民アンケートを行い、新庁舎建設場所を決定。

# 村長の日記

---

**11:20**

## 1月臨時議会

- ・ 国民健康保険診療所の指定管理者指定  
現在、指定管理をお願いしている医療法人やすらぎ会 から、医師の高齢化による指定管理辞退の申し入れがあり、指定管理者指定の  
必要があり提案する。  
指定管理者に、公益社団法人地域医療振興協会を指定した。  
全員賛成
  - ・ 村立郷土資料館、指定管理者指定  
楠公史跡保存会を指定。  
保存会には会の持つノウハウを資料館運営に活かし、何が出来るかを検討し示すように求める必要から、1年間の指定管理を要す。
  - ・ 28年度一般会計補正  
170万円を追加、歳入歳出総額32億4960万円とする。
- 議案終了後、議員提案で
- ・ 新庁舎は現在地で建設、建設費は10億円以内にすべき。との議決を頂いた。

1月24日（火）

## 朝

千早は夜来からの雪、15センチ。

四駆の軽に乗り役所へ、東阪あたりまでは雪があったが、役所に着くとまるで嘘のよう。標高の高い所は大変だ。

## 9:30

役所出発、10時37分の新幹線で上京。途中、関ヶ原あたりで降雪で遅れが出たが、7分遅れで品川。2時開会の30分前に笹川記念会館着。

## 村長の日記

---

### B&G サミット

元箕面市長梶田会長の挨拶で開会。

笹川会長の基調講演は「日本の将来は明るい」からテーマを急きょ変更「トランプ大統領就任式に出席して」の講演をいただいた。

最後に、日本のマスコミ、学識経験者は、いつも日本の行く先は暗い、将来は大変だと論調する。世界を見回しても日本は安全であり、経済が安定して成長しており心配ない。保険制度は完全に機能しており、社会的にも安全で安心な国である。

日本は良い国であり、将来的に心配ないと話すべきであり、国民全体も安心して過ごすべきだ。との話に感銘を受けた。

日本人はネガティブな話が好きだ。楠公さんの話でも桜井の駅、湊川、四條畷、彼にまつわる話は多くが悲しい話。手勢700人で13万人の北条勢相手に100日間の籠城戦を戦い抜いた千早城、大楠公ここにあり。

1月25日（水）

### 地域医療振興協会

副村長と共に、4月1日より村国民健康保険診療所の指定管理をお願いする、公益社団法人地域医療振興協会へ挨拶に訪問。

場所は町村会館の近く、日本海運ビル3F。アポなしだったので、理事長は診療のため留守、専務理事によろしくとお願いした。既に医師も決定したようだが、発表は少し先。高齢者の多い村にとっては、切れ目のない医療が大切。協会の皆さんには、くれぐれもよろしくお願いした。

### 午後

### 日本城郭協会

100名城スタンプラリーを運営している。専務理事に面談、最近スタンプラリー参加者の質の低下が気になる。スタンプを盗む人、スタンプ設置場所の時間に対するクレーム、休日に対するクレーム、スタンプを壊す人等々、参加メンバー、質の低下が問題となっている。

100名城の内、姫路城、江戸城、仙台の青葉城、桜の弘前城、有名な城は多いが、観光地でもなく千早城のように人に知られていない城も多い。100名城のスタンプラリーに参加している人は徐々に増え、千早城でも100名を超える日が多い。100名城は地域おこし素材の一つである。サミットを開催し、自治体の首長に効用を認識させる必要がある。

押印は四国88か所の様に押印料をとればいい(1回300円~500円)。押印料を取ることで、スタンプラリー参加者の100名城に対す

## 村長の日記

---

る認識が上がり、100名城巡礼の価値が上がる。

押印所に於いても、人件費が出れば雇用も発生し、確実丁寧に押印が行える。スタンプに対するいたずら・盗難もなくなる。10年~100年と歴史を経るごとに、100名城巡礼が重みを増す。

88か所と共に、日本の歴史に残る100名城巡礼にしよう。

1月26日（木）

### 全国町村会 正副会長交流会

開会の挨拶の後、総務事務次官の挨拶、全国町村議長会会長三重県議長会会長挨拶の後、自治功労者表彰、愛南町長清水氏が代表受賞。

講演「人工知能発達とそれに伴う社会変化」国土情報学研究所教授・社会共有知研究センター長 新井紀子氏

先生は「平成30年にはホワイトカラーの仕事の半分はコンピューターが取る」と世界で初めて表明。その後アメリカ、欧米でも1~2年遅れで認知された。

AI「人工知能」で東大に入学できるか。AIは意味を考えない大量の学習により、1万回10万回の学習で傾向を理解し物事を判断する。今の状態では東大入学は無理だろうと考えるのが当然。

現在の学校教育では文章の読めない子供・生徒が多い。文章が読める、意味を正確に理解することにより、まだまだAIに追いつかれることは無い。ただ将棋、囲碁、チェスの様に数十万例の定石を理解させれば、非常に強くなる。ただあくまでも学習の範囲であり、新しい定石は生まれづらい。日本ではAIを賢くするより子どもを賢くして、AIを自由に使いこなせる努力をすべきだ。

1月27日（金）

今日は大阪国際会議場で水道企業団の首長会議がある。

10時37分発の大阪行き“のぞみ”に乗る。少し空席があると思ったがほぼ満席、JR東海は収益が上がりすぎる企業だ。ロープウェイも今少し乗客が増えてほしい。

品川、新横浜、約1時間30分で名古屋。いつものことだが60%ほどの乗客が降りた。経済原則だが金のあるところに人は集まる。やはり大阪より名古屋の方が人が集まる、名古屋は景気が良い。京都と大阪でこの列車は終わり、大阪では乗り継ぎ客もあるだろう。現在名古屋

## 村長の日記

---

は、既に大阪を抜いてすばらしい街になったと認識せざるを得ない。

### **14:30**

大阪国際会議場で大阪府大都市局の皆さんにレクを受け、万国博覧会開催と副首都構想の話聞いた。

### **15:00**

#### 大阪府水道企業団 首長会議

最初に参加する四條畷市、太子町、千早赤阪村に、一人当り企業団議員派遣を認めてもらうことになった。次に3市町村の企業団加盟と共に次に加盟する8市町、近い将来大阪市も加盟してもらい、府下全ての市町村が水道企業団に加入、府下全てが1水道で上水供給となるように推進することになった。

1月30日（月）

#### 部落解放同盟大阪府連合会と太子町 河南町 千早赤阪村との同和問題解決・人権行政推進に向けた政策懇談会

1. 部落問題に関する基本認識と根本的解決に向けた基本姿勢  
インターネット、文書等による差別助長が拡散されている。防ぐには法規制が必要。国の責務であり、国民的課題として粘り強く活動を続ける必要がある。
2. 部落差別解消法の具体化は  
罰則規定のない理念法だが、推進に当たっては国、府の財政支援が必要。府市長会、町村長会が力を合わせ、国に対し強力な3者要望を行う。
3. 子どもの貧困対策は  
妊娠期から思春期まで切れ目なく支援を行い、国の大綱どりの事業を府と連携して行う。
4. 女性活躍推進法の具体化は  
男女共同参画プランにより、マイノリティ女性の参画にも積極的に取り組み当事者の意見を取り入れる。
5. 本人通知制度の登録者拡大を  
本人通知制度は個人情報不正取得抑止力だ。証明書交付待ち、マイナンバー手続きの方にも普及啓発を行ってPRにも努力している。



## 村長の日記

---

今後も継続して啓発を行い1人でも多い登録を進める

### 6. 人権行政の推進体勢と部落問題に精通した職員の育成

村は身を切る改革の一環として人員削減を行った結果、住民課長以下の体制で人権行政を行っている。また教育委員会でも教職員に対する教育を行い、住民に広く教育できる対策を取っている。

約1時間、解放同盟の皆さんと話し合った。長い歴史を持った問題だから一朝一夕には解決できないと思うが、“継続は力なり”。解決に努力を続ける。

1月31日（火）

今、大阪はかなりのスピードで存在価値が低下している。アッセンブリーメーカーは殆ど無く(ダイハツ、ヤンマーが目立つ)、府下の企業は徐々に本社を東京あるいは他府県に移しつつある。大阪の代表的な金融機関だった住友銀行、三和銀行、大和銀行は既に東京の銀行になった。住友銀行は三井銀行と合併し、三井住友銀行となった。三和銀行は三菱東京UFJ銀行となった、大和銀行はりそな銀行となり、大阪圏にお金が無くなってきたので大阪圏から出て行ったのだ。経済原則通りだが残念だ。

大阪では、副首都になる、大阪都になる話がある、私は大賛成だ。ぜひ大阪が日本の副首都となり、大阪都になってほしい。大阪が元気になるイベントとして万国博覧会があり、パリと競合するらしい。力を合わせ大阪で万博を行ってほしい。

私にとって一つ心配なのは、四〇年前大阪で万博があり、アメリカ館で月の石が展示され、にぎわった。大阪の元気は当時絶好調、万博終了と同時に衰退がはじまり、現在の大阪となった。

黒田府政により、大阪の道路インフラ整備は極端に遅れた。結果大阪の物流が悪くなり、同時に人、金の動きが悪化した。地域の活性化は人・モノ・金の動きを活発にすることから始まる。物流の低下で大阪の経済活性化が遅れ、大阪の地位低下が加速された。

大阪の地位低下を留め、元気を増す必要上、万博・IR・副首都・大坂都・リニアは必要だ。全て大阪に必要と考えるのは、私だけではない。万博会場まで能勢町から、岬町から、千早赤阪村から1時間で余裕で行けるインフラが必要だし、リニアが大阪まで来てもリニアに乗るのに2時間では、大阪→品川68分の意味が無い。